

2026年3月期 第1四半期決算 決算補足資料

2025年8月5日

株式会社 ロジネットジャパン



1. 2026年3月期 第1四半期 連結業績

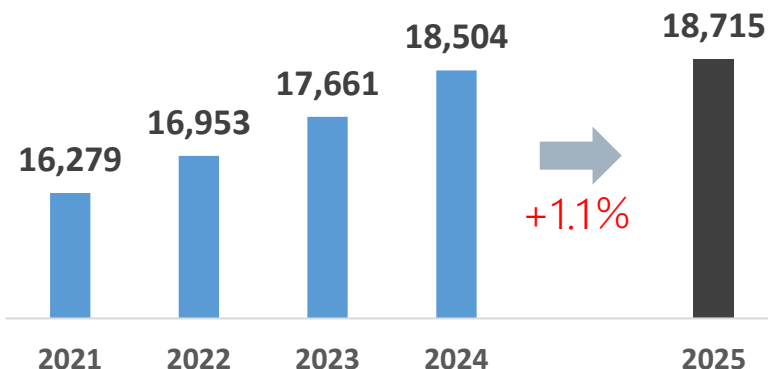


- ・ **営業収益**は、大手取引先の取り扱い数量の増加などにより、**前年同期比2億10百万円（+1.1%）**の187億15百万円となりました。
- ・ 利益面については、上記の増収効果があるものの、輸送原価の上昇や先行投資として行っている人件費投資による費用増加影響により**営業利益は前年同期比6百万円減（△0.9%）**の7億60百万円、**経常利益**は営業外収益の増加により**前年同期比8百万円増（+1.2%）**の7億70百万円、**親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比26百万円増（+5.6%）**の5億5百万円となりました。

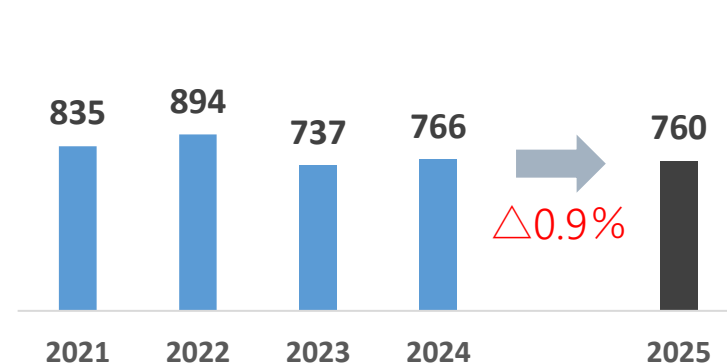
	前第1四半期	当第1四半期	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
営業収益	18,504	18,715	210	1.1
営業利益	766	760	△ 6	△ 0.9
経常利益	761	770	8	1.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	478	505	26	5.6

2. 第1四半期 連結業績の推移

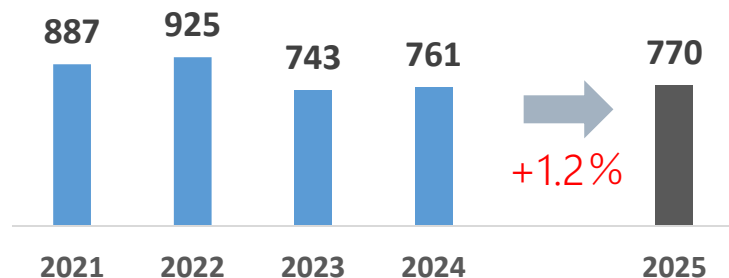
営業収益 (百万円)



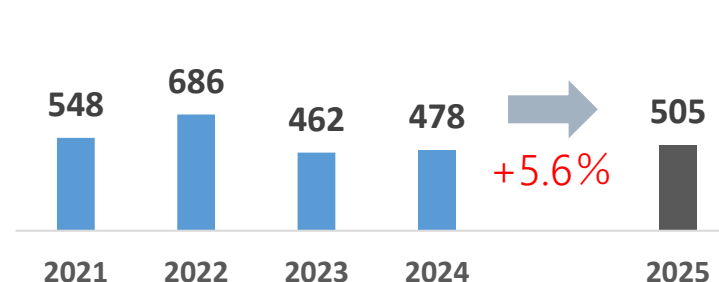
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



四半期純利益 (百万円)



3. 2026年3月期 連結業績予想

- 2026年度3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月8日発表値から変更はありません。
- 全国エリアを対象とした輸送サービス **LNJEX** により事業領域を拡大するとともに、**DDロジ**、さくらスマイル引越事業などの**当社グループの独自商品の拡販、国際物流事業、EC物流事業の強化**、輸送力維持強化のための料金改定の推進などにより、営業収益目標の達成を目指すとともに、引き続き内製化による自社輸送能力の強化とIT化効率化により業務改善効果を創出することで、収益力の強化を実現してまいります。
- 2025年度は、当社にとって「**中期経営計画2025-2027**」のスタートの年であるとともに、2025年10月で創立20周年を迎える節目の年です。当社の事業目標である「**2030年度までに連結売上高1,000億円を実現する**」を達成すべく、事業拡大に向けた取り組みを推進してまいります。

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	対前年(%)	百万円	対前年(%)	百万円	対前年(%)	百万円	対前年(%)
中間期 (累計)	38,850	0.8	1,920	1.2	1,850	1.0	1,180	0.3
通期	79,500	2.9	3,700	0.9	3,560	2.6	2,260	0.5

4. 売上・利益拡大に向けた取り組み



ロジネットジャパングループでは中期経営計画2025－2027に基づき、2026年3月期の業績目標に向けて、以下の4つの事業セグメントを重点的な施策と位置付けます。



中期経営計画2025－2027
営業方針

- (1) **LNJEX**
- (2) 独自商品の拡販
- (3) 国際物流事業
- (4) EC物流事業の拡充

(1) **LNJEX**

全国ネットワークと多様な輸送モードを活用し、全国エリアでお客様に最適な輸送メニューを提供するサービスです。

EXpandable

全国のネットワークと
幅広い輸送モード

FLEXible

お客様のニーズに
柔軟に対応

EXpress

迅速な
輸送サービス



4. 売上・利益拡大に向けた取り組み

(2) 独自商品の拡販

ロジネットジャパングループ独自の商品の拡販を通し、環境問題や物流業界の課題へ対応します。



1 パレット単位で発注された荷物を
最終納品先にダイレクトにお届け。
「コスト削減・作業削減・CO2削減」を
実現しながら、国際物流事業に
おいても利用推進中。

 **DD LOGI** の管理システムが特許取得！

DD LOGI のビジネスモデルについて独自性
が認められ、2025年7月に特許を取得。

パレット単位で最終納品先まで直送！



特許 第7717032号

+

実用新案登録
第3243394号



**さくらスマイル
引越隊**

総合物流企業としての
輸送力を活かした
全国エリアでの引越事業



単身引越者向け商品
さくらボックス

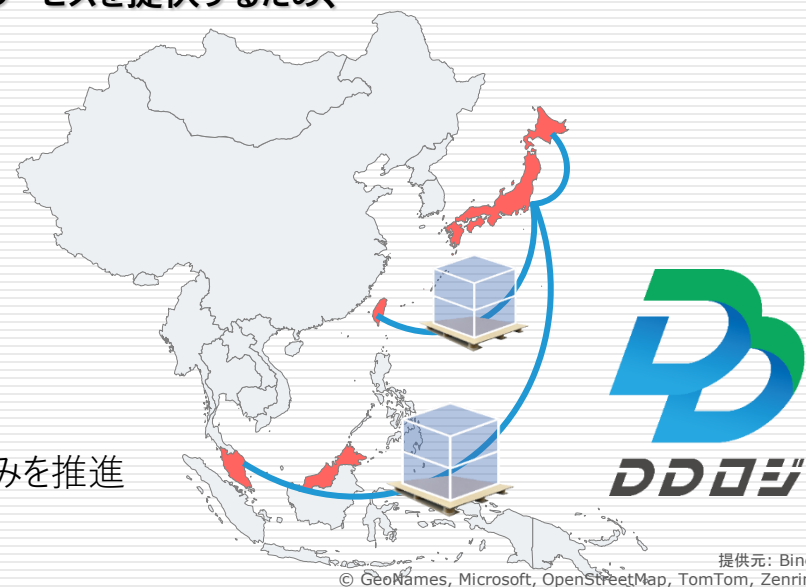
特許取得済み
特許 第7384659号

4. 売上・利益拡大に向けた取り組み

(3) 国際物流事業

国内輸送の実績を生かし、グローバル市場にも対応した物流サービスを提供するため、国際物流事業へ本格的に参入します。

- ・国内外のお客様に対してより広範なサービスを提供し、競争力を高めるための体制整備
- ・農産物輸送の実績やノウハウを活かし、増加が見込まれる農産物の海外輸出のニーズに対応
- ・国際物流事業においても、当社の輸送商品  DDOJI など、環境に配慮した持続可能な物流を実現するための取り組みを推進



(4) EC物流事業の拡充

これまでに培ったノウハウを活かし、今後も需要拡大が見込まれる輸送ニーズへの対応力を強化します。

- ・EC物流のニーズに応えるための基盤強化
- ・EC市場の成長・変化に対応した柔軟な物流事業の提供

5. 人財投資について

事業競争力強化に伴う優秀な人財の確保のため、社員が安心して仕事に取り組み、能力を最大限発揮できるように、処遇改善や社内制度を整備しています。

処遇改善

2023年度より継続的に、大卒初任給の引き上げや従業員の処遇改善に取り組んでまいりました。



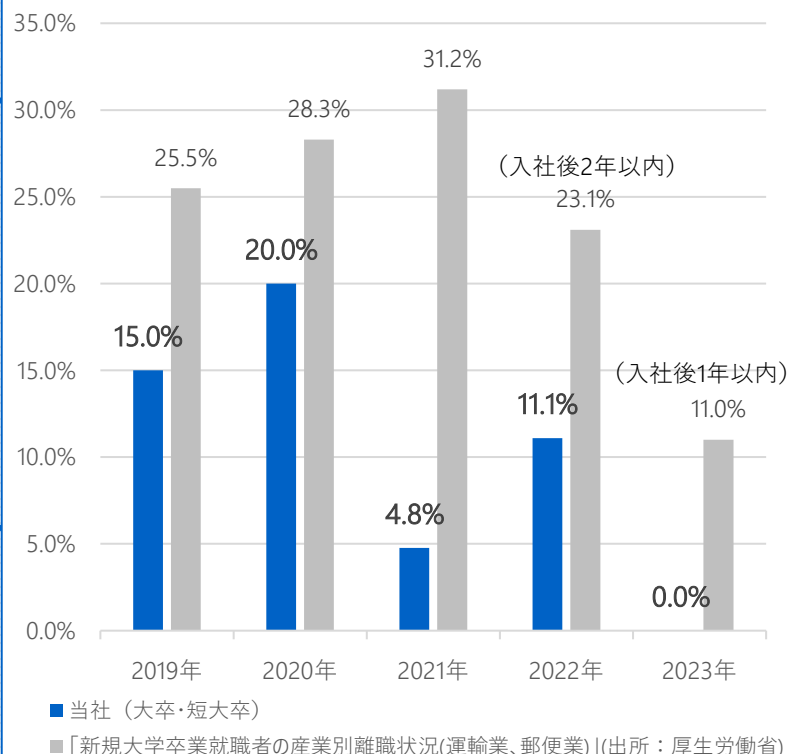
2025年度 人財投資方針

- ◆ 大卒初任給を35万円へ引き上げ
- ◆ 継続的なベースアップの実施

社内制度の拡充

- ◆ 奨学金全額返済支援制度
- ◆ 育児・介護休業期間中の給与支給
- ◆ 借上社宅制度（家賃の3/4を会社が負担）
- ◆ 事業所内保育施設の設置
- ◆ 育児短時間勤務（子が小学校3年生終了まで）
- ◆ 単身赴任者帰省往復交通費支給制度（年6回）

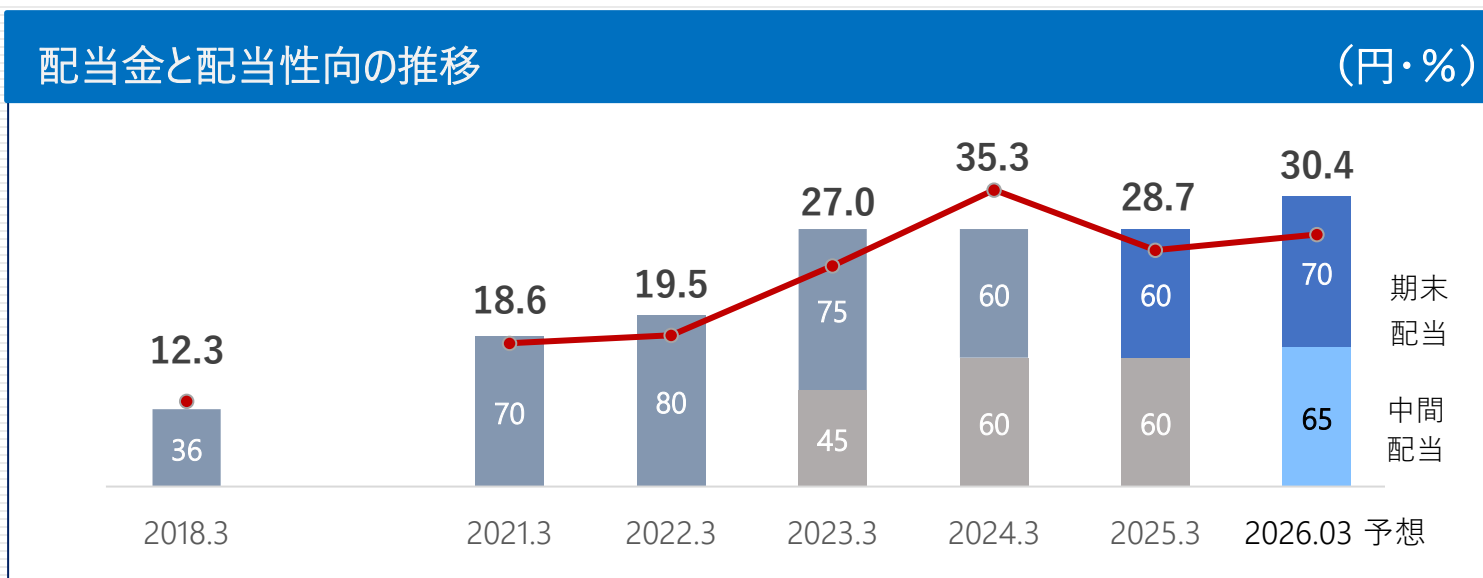
入社後3年以内の離職率推移



6. 企業価値向上に向けた取り組み

(1) 配当金について

- ・ 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけた上で、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当を継続することを基本方針としております。
- ・ **2026年3月期の配当**は、「中期経営計画2025-2027」に基づき、株主の皆様への利益還元を強化する内容とし、**中間配当65円00銭、期末配当70円00銭、合計135円00銭**を予定しております。



6. 企業価値向上に向けた取り組み

(2) 自己株式取得について

1 株当たり株式価値の向上による株主還元の拡充と資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするために、自己株式の取得を進めております。

(3) 株主優待制度について

3 月末日の所有株式数に応じて、弊社製品の「北海道大雪山『ゆきのみず』」を贈呈しております。

『ゆきのみず』はモンドセレクション優秀品質最高金賞を受賞（2023年度）したほか、札幌商工会議所の認証「北のブランド2024」においても金賞評価を得ております。



(4) 個人投資家向けIR説明会について

ロジネットジャパンでは、個人投資家の皆さまを対象としたIR説明会を、札幌証券取引所で開催予定です。詳細が確定次第、当社ホームページ、札幌証券取引所ホームページ等でご案内いたします。

予測に関わる注意事項



本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

